



令和7年度における職業訓練実施計画の 策定方針について

- 1 令和7年度全国職業訓練実施計画の策定に向けた方針(案)
- 2 令和7年度神奈川県職業訓練実施計画の策定に向けた方針(案)

令和6年11月14日

神奈川県労働局職業安定部訓練課



令和6年度計画に挙げた課題と令和5年度の実施状況

評価・分析

令和7年度の公的職業訓練の実施方針（案）

**応募倍率が低く、
就職率が高い分野**

介護・医療・
福祉分野

- 【委託訓練】
応募倍率が更に低下し69.4%。就職率は横ばい。
- 【求職者支援訓練】
応募倍率が横ばいの69.8%。就職率は向上。

**応募倍率が高く、
就職率が低い分野**

IT分野・
デザイン分野

- 【委託訓練】
- ・IT分野：応募倍率、就職率ともに低下。
 - ・デザイン分野：応募倍率が著しく低下。就職率は横ばい。
- 【求職者支援訓練】
- ・IT分野：応募倍率が低下、就職率は向上。
 - ・デザイン分野：応募倍率が低下。就職率は向上。

応募倍率	両訓練ともに約70%であり、応募倍率の上昇に向け、引き続き 改善の余地 がある。【A】
就職率	比較的高水準で推移。

応募倍率	特に委託訓練におけるデザイン分野について、高応募倍率が 大幅に解消・改善傾向 。
就職率	両分野における就職率は56~69%で比較的低調であり、引き続き 改善の余地 がある。【B】【C】

A 令和6年度計画に引き続き、訓練コースの内容や効果を踏まえた**受講勧奨の強化**が必要。

委託訓練についてはDの措置も併せて実施。

B 令和6年度計画に引き続き、求人ニーズに即した**効果的な訓練内容であるかどうかの検討**を行う。

C 令和6年度計画に引き続き、就職率向上のため、**受講希望者のニーズに沿った適切な訓練を勧奨**できるよう、ハローワーク訓練窓口職員の知識の向上や、事前説明会・見学会の機会確保を図る。

また、**訓練修了者の就職機会の拡大**に資するよう、訓練修了者歓迎求人等の確保を推進するなどの取組推進が必要。

委託訓練の計画数と実績に乖離あり。
令和5年度も同様の傾向。

D 令和6年度計画に引き続き、開講時期の柔軟化、受講申込締切日から受講開始日までの期間の短縮、効果的な周知広報等、**受講者数増加に向けた取組**が必要。

E 就職率に加えて、訓練関連職種に就職した場合の処遇といった観点も踏まえた**求職者の希望に応じた受講あっせんを強化**する。

デジタル人材が質・量とも不足、都市圏偏在が課題。

F 引き続き、**デジタル分野への重点化**を進め、**一層の設定促進**が必要。

令和7年度 神奈川県職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

① 応募率が低く、就職率が高い分野

「介護・医療・福祉分野」の応募倍率

- ・ 委託訓練は、71.1% → 66.3%に低下
- ・ 求職者支援訓練は、93.3% → 93.5%と横ばい

- ・ 引き続き、訓練コースの内容や効果を踏まえた受講勧奨の強化が必要

- ・ 仕事内容だけでなく、資格取得等のキャリアアップによる待遇の変化などの案内により、業界への興味関心を引き出すことも必要

検討強化

② 応募倍率が高く、就職率が低い分野

「IT・デザイン分野」の応募倍率・就職率

- ・ 応募倍率は若干下がり、改善が見られる
- ・ 就職率はIT分野で改善、デザイン分野は低下

< 就職率向上への対策 >

- ・ 求人ニーズに即した効果的な訓練内容か点検・改善を実施
- ・ 受講希望者のニーズに沿った適切な訓練を勧奨できるようハローワーク職員の知識の向上や訓練実施施設見学会の機会確保を図る
- ・ 訓練修了者の就職機会の拡大に資するよう訓練修了者歓迎求人等の確保を推進する等の取り組みを推進

検討強化

③ 令和4年度から継続して、委託訓練の受講申込者数、受講者数ともに減少

- ・ 申込締切から訓練開始日までの期間短縮等検討
- ・ 雇用保険受給者へ委託訓練の優先的なあっせん

検討調整

④ デジタル人材が質・量とも不足 (デジタル田園都市国家構想総合戦略)

- ・ 職業訓練のデジタル分野への重点化
- ・ カリキュラムの点検・改善を実施

検討推進

実施状況の分析

計画と実績の乖離

人材ニーズを踏まえた設定